



鳥海山 20年ぶり神事

鳥海山(2236呎)

・95呎。赤塚建設工業(同

の山頂付近にある鳥海山町、赤塚祐吉社長)が平大物忌神社(遊佐町、高橋広晃宮司)の本殿で8日、20年に1度の神事に運んだ。

「遷座祭」が行われた。

遷座祭は、日没後に開

始した。神聖なご神体は、昨年20年ぶりに建て替えられた本殿にご神体を戻す神事。氏子ら約40人が参列した。扱うことを許されており、公開もされていない。

遊佐 大物忌神社「遷座祭」

山頂の新本殿にご神体無事戻る

本殿の建て替えは、最も古い記録で江戸時代前期に当たる1618(元和4)年にさかのぼるという。新しい本殿は、2013年に式年遷宮で社殿を造り替えた伊勢神宮(三重県伊勢市)のヒノキの古材を梁(はり)などに使用。高さ2・1呎、幅と奥行きはそれぞれ1

参列者に見られないよう、白布のとばり「緇垣(きぬがき)」に囲まれた高橋宮司が、厳かな雰囲気の中でご神体を本殿に納めた。高橋宮司は「20年に1度の大切な神事を無事に執り行うことができた。新しい本殿から多くの人々を見守ってほしい」と話していた。